

# 令和6年度 田河小学校 学力向上プラン

吉崎市立田河小学校

学校教育目標 **たくましさとかちあう心もち、自ら考え、幸せをつかむ子どもの育成**

## めざす児童像

- 心身ともに健康でたくましい子ども
- 自力で考え、答えを導き出す子ども
- 思いやりがあり、相手の気持ちを理解する子ども

## 具体的な姿

- 自ら課題をたて、見通しをもって調べ、自分なりのまとめを導き出す力を身に付ける。
- 自分の考えと他の人の考えを比較検討し、よりよい考えを導き出し、わかりやすく伝えようとしている。
- 学んだことを新しい学習や生活に取り入れ、生かしている。

全職員が上記のことを共通理解し、常に意識して、徹底した実践を行うことで児童の学力向上を図る。

P 改善・向上策の立案、提示 ⇒ D 共通実践 ⇒ C 学力調査等の実施 ⇒ A 傾向の分析と検証

## 学校

## 家庭

	短期的な取組（1年間）	長期的な取組（6年間を見据えて）	
授業改善	<b>①各教科共通の授業実践</b> ・日々の実践により、授業分析シートの第三段階目指す授業を日常化する ・理由が明確な書く活動や表現活動を通して、論理的思考力を育成する <b>②校内研究の充実</b> 「算数科における論理的思考力を育成する授業の追究」 <b>I 授業改善</b> ・『第五版』を基本とした授業づくりの日常化 ・「しらべる過程」における書けない子を書けるようにするための手立ての検討・実践 ・授業の見せ合い、学び合いによる、互いの授業力の向上 ・「ねりあげる過程」における、根拠が明確な説明により、考えを深めるための手立ての検討・実践 ・タブレット等 ICT を有効に活用するための検討・実践 <b>II 基礎的・基本的な学力の向上</b> ・学年間の系統を意識したアップルタイムの活用 ・学力テストの分析結果を反映させたアップルタイムの有効活用 ・家庭学習を利用した基礎学力の向上 ・タブレットの積極的、効果的な活用 <b>III 家庭との連携</b> ・家庭学習の内容の充実 ・生活習慣の定着 ・読書活動の推進（目標冊数の設定や親子読書） <b>③生徒指導が機能した授業</b> ・すべての子どもが認められる場の設定 <b>④児童支援体制の整備</b> ・個別の支援計画、指導計画に基づく個別支援体制の充実	<b>①校内研究の充実</b> ・全職員の共通理解・同一歩調による研究の推進 ・PDCAサイクルによる、継続的な授業改善 <b>②発達段階に応じた授業実践</b> ・論理的思考力を高める授業実践（書くこと・話すことを大切に） ・目標を絞り、身に付けさせたいことの定着を図る授業実践 ・ガイド学習を取り入れた学び方の定着 <b>③算数科授業における取組</b> ・6年間の学びのつながりを踏まえた授業実践 ・考えの根拠を明確にしながら、自分の言葉で書くことを重視した授業実践 ・根拠を示し、図や言葉などを使って、自分の考えをわかりやすく説明し合うことを重視した授業実践 ・子ども同士の対話が溢れる授業実践 <b>④他教科における取組</b> ・根拠を基に、自分の考えを説明する場の設定 ・言語活動を適切に取り入れた授業実践 ・正しい日本語を大切にすることによる読解力の育成 <b>⑤全教育活動を通じた道徳教育の充実</b> ・できない自分や弱い現実の自分を深く見つめ、真の道徳性を育む道徳授業の実践 ・学年間で実施する道徳科の交換授業	<b>①学習規律・生活規律の徹底</b> ・正しい姿勢 ・話し方・聞き方 ・準備・取り組み方 ・『田河小5あの約束』 あいさつ あさごはん あるいてどうこう あとかたづけ あんぜんなせいかつ <b>②家庭学習の習慣化</b> ・各学年の発達段階に応じた学習時間の設定 ・知識、技能の習得、定着を目指した内容の精選 <b>③基本的な生活習慣の定着</b> <b>④家庭読書の取組</b> ・親子読書 ・貸出冊数個人目標の設定 <b>⑤家庭・地域との共通理解</b> ・学校だより、学級だより、保健だより、学校HP等 ・PTA総会、学級PTA研修会、学校運営協議会 ・「たがわの WA」リーフレットの作成・周知 ・キャリアパスポートの活用
	教育活動全体における取組	<b>①業間を活用した指導</b> ・アップルタイム（国語、算数） ・15分間の読書タイム <b>②学力調査の実施と結果分析・対応</b> ・全国学力・学習状況調査（6年） ・長崎県学力調査（5年） ・標準学力調査（全学年） <b>③学習環境の整備</b> ・各教室に統一した掲示物 ・ユニバーサルデザインの教室掲示 ・特別支援教育支援員等の活用による個別支援の充実 <b>④基礎基本の定着を目指した家庭学習課題の工夫</b> ・個に応じた量と質を充実させ、知識・技能を定着させる宿題の工夫	<b>①学級経営の充実</b> ・教師と児童が信頼で結ばれた学級 ・児童同士が互いを認め合い、何でも話せる学級 <b>②教師の指導力向上</b> ・研究会等への計画的・意図的参加 ・教材研究（日課の工夫等による時間確保に進展で取り組む） ・学校訪問による指導を受けての授業改善 <b>③図書ボランティア、SSW、SCとの連携</b> ・図書ボランティアによる読み聞かせ ・SSW、SCの支援による心の安定化